



編集・発行

荻野地区地域福祉推進委員会

事務局：荻野地区市民センター

TEL (241) 1030

荻野地区地域福祉
推進委員会だより

やまびこ

地域福祉

推進委員会

委員長 伊藤重文

荻野地区地域福祉推進委員会の委員長に就任して、早一年が過ぎました。コロナ感染症が五類に移行して、各部会の多くの事業が再開し、予定通りに進めることができました。皆様のご協力に深く感謝いたします。

今年元日から能登半島地震が発生し、あらためて防災・減災の必要性を強く思っています。地震・風水害など災害は必ずやってくる。ハザードマップの確認など起こりうる災害への知識を高めること、それを基にして家具等の転倒防止などの対策や日常生活品の備蓄など日頃の備えを行うことが重要です。さらに、阪神・淡路大震災で助かった人の8

割が近隣住民の救助

だったという事例がありますように、常日頃から隣り近所同士で助け合おうとする向こう三軒両隣の気持ちが必要に大切です。皆様と一緒に、荻野地区を少しでも災害に耐えられる地域にして行きたいと思えます。

来年度も荻野地区が住みよい地域になるよう皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

総務部会

部長 棚橋俊之

総務部会では、コロナの五類移行後、皆様のご協力ご支援のもとに、今年度の予定行事を滞りなく実施することができました。

・子育てサロン「ひなたぼっこ」の開催
毎月第三火曜日午

前に鳶尾児童館にて開催。参加人数は当

日の天気の影響を受

ける傾向にありましたが、年間としては概ね昨年度並みでした。

・ひとり暮らし老人登録者への訪問対話（7月実施）

・ねたきり老人登録者へのお見舞い
12月に民生委員が

ねたきり老人登録者を介護されているご家族の慰労に訪問させていただきました。

世代間交流促進事業

1月に行われた鳶尾小や荻野小の世代間交流イベント（昔遊び）では、児童と

地域の高齢者を繋ぐ窓口の役割を担いました。児童と参加いただいた高齢者の方々が一緒に楽しむことができました。

視察研修

3月に静岡県地震防災センターを視察しました。地震、風

水害、火山災害の内

容やそれらの対策について体験しながら学ぶことができました。

来年度も皆様と一緒に、より明るく元気に活動していきたいと思



(子育てサロン)

ボランティア部会
部長 加藤 修

私たちボランティア部会は、地域のボランティアと連携をはかり、それぞれの活動に参加してきました。

「くわの実文庫」では、幼児から高学年までを対象に本の読み聞かせをし、対象年齢に応じて本を選別して対

応しているとのこと

です。

「居場所づくり」の活動として「いちばつ処」では、生け花教室に参加、また「もりや亭」では毎週金曜日12時から700円ランチが用意され、近くの方々が会食を楽しんでいるようです。

「東カフェ」「荻カフェ」では、お菓子を食べながら会話を楽しんでおられました。

それぞれの活動の場には、10名〜20名ほど参加されていて、楽しんでおられました。

今後も私たちボランティア部会では、いろいろな活動に取り組んでいきたいと思



(いちばつ処)

サービズ部会
部会長 升田恒明

暑い夏を乗り越え、9月の敬老事業も終えて、久し振りのミニ茶話会を10月3日(火)に久保老人憩いの家で実施しました。

健口講話の後に琉球踊りを披露したところ、「初めて見た」と大変喜んで頂きました。この茶話会を皮切りに、各地で5回のミニ茶話会を開催し、健口講話と様々なアトラクション(日舞・ウクレレ・腹話術・手品)はとても好評でした。特に良かったと思ったのは、日舞を見学した後、参加された方々が一緒にあって炭坑節を踊ったことです。後にも先にも初めてのことでしたが、皆さんとても楽しそうに踊っていました。また、11月に実施した「小さな真心お届け

隊事業」では、お湯を注ぐだけで美味しいシジミスープをひとり暮らしの老人登録の方々にお届けし、喜んで頂けたと思います。

令和5年度の事業は、2月26日(月)のミニ茶話会で終了しました。担当地域の民生委員の方々をはじめ、自治会長さんやしあわせクラブの会長さんのご協力に深く感謝申し上げます。

能登半島地震が発生してしまいました。自然災害とは云え、「何でお正月に」と思ってしまう。余りにもむご過ぎます。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。今期の「健康体操」もお陰様で無事終了することが出来ました。暑い中、寒い中、年間を通じて「健康体操」に参加していただいた皆様方に感謝申し上げます。

健康部会
部会長 石田博孝

能登半島地震が発生してしまいました。自然災害とは云え、「何でお正月に」と思ってしまう。余りにもむご過ぎます。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。今期の「健康体操」もお陰様で無事終了することが出来ました。暑い中、寒い中、年間を通じて「健康体操」に参加していただいた皆様方に感謝申し上げます。

どんな形であれ、どんな場所でも構いません。「一日五分でも身体を動かす」これが健康増進への一歩だと、言われています。来年度も「健康体操」にふるってご参加いただけることを願っております。



(健康体操)

カルチャー部会
部会長 大谷 彰

カルチャー部会年間行事の第2弾として「冬のオカリナ&ピアノコンサート」をオカリナ演奏(竹林様)とピアノ演奏(田巻様)をお迎えし、2月4日(日)に開催しました。当日は、「立春」と

は言え一年で一番寒い2月初旬でしたが、80名超えの音楽好きの方に参加して頂き「オカリナ&ピアノ Duo」の素朴で優しい音色に心温まる一時を過ごして頂いたと思います。オカリナとピアノの発祥地はイタリアのようです。オカリナは陶器製の「土笛」で素朴な音色が特徴です。素朴な音色と言えば、子供の頃に野原や道端に生えていた草(カラスノエンドウやタンポポ)の実や茎を材料に笛のような楽器を作って遊んだことがあると思います。昭和20年〜30年代生まれの方であれば、今でも草を使った音を奏でられると思います。音楽は人の心を穏やかにし、幸せな気持ちにしてくれます。来年度も地域の皆様に興味を持って頂き、多数の方々が楽しみに



(オカリナ&ピアノ Duo)

(編集後記)
広報部会
部会長 三栖寛美

年2回の発行とはいえ、慣れない広報づくりの割付は本当に大変だ。パソコンに向かうのは良いが、目が疲れて仕方ない。お湯に浸したタオルを目に当てて疲れている。

『出来たッ!』

*

皆様のご健康をお祈りし、編集後記とさせていただきます。